



ご挨拶

家族会が中心となった「作業所」運営から始まった、社会福祉法人よつばは、17年の歴史を重ねてきました。今では、就労継続A型、B型、地域活動支援Ⅲ型、グループホーム5か所、相談支援事業所の運営をしています。利用者の方は約200名で、精神・知的・発達障害を持つ方たちが利用してくださっています。法人の中心拠点は柏市大津ヶ丘ですが、千葉市にもグループホームがあります。

これから隔月の予定で、法人の各事業の働きや利用者の方たちの体験感想の紹介や、家族の思いや願いを載せて、イベント案内などを「たより」として、紹介したいと思えます。

☆共同生活援助「クローバ北柏」

グループホーム北柏は、アパートを借りて、定員12名で運営しています。最寄り駅は常磐線の北柏駅から徒歩12分です。二人の人が共同生活するタイプとなっています。職員が同じアパートで勤務していますので、身近に相談や支援を受けることができます。家賃と食費と水光熱費と日用品代を合わせると、約5万円から5万5千円程度です。

まず見学の機会や面談をさせて頂き、体験宿泊をして、一緒に暮らす予定の方との交流の機会を持っていただきます。月曜から金曜までの夕食(一回500円)のサービスがあります。グループホームは、自分の生活を家族とは一定の距離を取りながら、日中活動をして「自分なりの生き方」を作っていく場所です。入居の期限はありませんが、自信がいたらアパート暮らしに移ることもできます。

必要に応じて、金銭管理や服薬管理のお手伝いもします。調子が悪いときは、通院への同行も可能です。何といても相談できる職員が、身近にいてくれることが心丈夫です。

グループホームでの生活を考えてみませんか。問い合わせは04-7179-5870です。お待ちしております。現在、空き室が2部屋あります。

☆体験談・よつば工房 渡辺 哲

① 自分のこれからの夢や願い

私の今の一番の願いは、健常者並みに生活の回復することです。しかし、発病から約15年経過している今、私が感じるのは「私の病気は一生の付き合いとなる可能性が高い」ということです。「私は健常者にはもう戻れない」という諦めの

気持ちがあります。それなので、現実的な今の私の願いは、今の病状をコントロールして就労継続支援A型、もしくは障害者枠での一般企業への就労と社会復帰を果たすことであり、よつば工房(就労継続B型)での日々の作業は、そのためのリハビリ作業だと考えています。

② 通所や利用して感じること

現在の自分の状況では、幸いにしてよつば工房での生活に支障はありません。社会復帰へのリハビリの場として、非常に自分のために役立っていると思いますので、感謝しています。

③ 自分の障害を通じて感じること

健康だった時には全くと言ってよいほど考えていませんでしたが、障害とはだれにでも起こりえることだと感じています。このことを自分が障害者になってから気づきました。「転ばぬ先の杖」とはよく言ったものだと思います。現在の私の、よつば工房での日々は、この「転ばぬ先の杖」を持つ作業だとおもいます。

④ 趣味や楽しみにしていること

健常者だったころには、休日は海や山に春夏秋冬外出することを楽しみとしていました。しかし病気と共に、この楽しみはなくなりましたが、最近は週末には、自然豊かな場所に出かけて、アウトドアスポーツにリハビリを兼ねて楽しくやっています。これはひとえに、よつば工房での作業を通じて、外出できるだけの体力を少しずつ取り戻してきたことによる結果が大きいのだと思います。



☆家族の想い・柏市在住 Kさん

①現在のこと

私の息子は現在 44 歳になります。今は柏市の地活Ⅲ型「クローバ柏」と、流山市の「すみれ」を利用して、毎日きちんと通っています。気分転換の楽しみはゲームセンターに行くことのように、東京まで月に一度ぐらいのペースで楽しんでいます。

②発病したときの苦しみ

しかし、20 数年前に発病したときは大変でした。本人も苦しみましたし、家族も悩みました。じっとしていられなくて、イライラすることが続きました。柏市に引っ越して間もないころ、あまりの苦しさに、マンションから飛び降りてしまいました。幸い命は助かりましたが、骨折のために半年間、入院生活を送りました。主人も私も、子どもの苦しみを十分にわからず、自分を責めました。入院中は毎日、お見舞いと励ますために、東京まで通いました。最初は車椅子でしたが、今では自分で歩けるようになっています。

③よつば会を知ったきっかけ

現在は、慈恵大学の柏病院に毎月通院しています。その病院のソーシャルワーカーや看護師さんから、柏保健所と家族会のよつば会のことを教えてもらいました。よつば会に通うようになって 20 年になります。夫婦ともに、病院の家族教室に参加し、病気のことをまた、接し方を学びました。主人も息子と穏やかに接しますので、安心していきます。

④親亡き後の心配は

私たち夫婦も年を重ねていきますので、これからの息子の生活のことが一番心配です。兄弟はいるものの、兄弟に任せることは避けたいことです。本人は、マンションで過ごすか、またはアパートに移って一人暮らしをしたいと言っています。料理はしませんが、洗濯ものをたたんだり、掃除をすることは自分で出来ます。シャワーも利用しています。まじめな子ですので、アパートで暮らせたらと期待しています。友達の中にもアパートで生活している人もいますということです。

振り返ってみると、小さいころから学校でいじめを受けたりしていました。人間関係で苦しんでいたのだと思います。現在は子どもの毎日を見守りながら、今は過ごしています。

☆法人よつばの各事業イベント紹介

<クローバ柏の予定>

①増尾地域ふれあいのつどい (バザー)

- ・11月2日土曜 10時から14時まで
- ・増尾近隣センター駐車場にて

②クリスマス・忘年会 (利用者対象)

- ・12月19日木曜 12時から14時半まで
- ・会食やビンゴゲームや個人芸など

<就労継続B型・青い鳥の予定>

① 地域ふれあいのつどい (バザー)

- ・11月2日土曜 11時から14時まで
- ・増尾近隣センターにて

② わかばフェスティバル (バザー)

- ・11月9日土曜 10時から14時半まで
- ・わかば園駐車場とワークライフまつさと内

③ いきいきふれあい祭り (バザー)

- ・11月9日土曜 10時から15時半まで
- ・柏市南部老人福祉センター

「カタクリの里」にて

☆精神障害者家族会よつば会 定例会の紹介 (問い合わせ 04-7199-3645)

<柏部会>

- ・11月23日土曜 12時45分から
- ・アミューゼ柏 5階 会議室D

<我孫子部会>

- ・11月25日月曜 午後1時から
- ・湖北駅南口 「お休み処」にて

<流山部会>

- ・11月22日金曜 10時から
- ・初石公民館 1階会議室

なお、**発達障害者の家族会「ひまわりの会」**も開かれています。関心のある方はお問い合わせください。

- ・毎月 第二土曜日 10時から12時迄
- ・流山市初石公民館にて
- ・問い合わせ 大山 090-7226-4486
三尾谷 090-3426-1813

☆法人よつばの令和第3回・役員会開催

法人の運営のために、会合がもたれます。

- ・理事会 11月22日金曜 18時～
 - ・評議員会 11月29日金曜 18時～
- 会場 法人の事務局2階にて

